

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成26年11月7日(金) 公開授業Ⅱ

対 象 5年2組 男18名, 女16名 計34名

指導者 似内 浩子

1 単元名 本は友達 「わたしたちの「図書館改造」提案」

2 単元の目標

第5学年の目標

(2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。

目的に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理し、自分の考えを明確にするため、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。

3 単元の評価規準

観点	B：おおむね満足できる
国語への 関心・意欲・態度	課題解決のために図書館の現状をとらえ、進んで情報を収集しながら、アイデアを練ろうとしている。
書く能力	図書館をよりよく改造するために必要な事柄を収集し、全体を見通して整理している。(ア) 自分の提案を明確に伝えるために、問題点・提案・提案の効果という構成を考えて組み立てている。(イ)
言語についての 知識・理解・技能	文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。(イ (キ))

4 単元について

(1) 児童について

児童の国語に対する興味関心は、進んで取り組む学習意欲の高い児童と、あまり興味・関心をもてずにいる児童との差が大きい。読書への関心も同様で、必読図書の達成率や読書冊数に個人差がみられる。そのことをふまえ、児童が意欲をもって取り組むための工夫を考えながら学習を進めてきた。

本単元でも、図書館をよりよく改造するためにはどうすればよいかに焦点をあて、児童が意欲的に学習に取り組めるように動機付けを図りたい。そのために、11月の「図書まつり」とタイアップさせ、図書委員会への提案書を書く、自分のコーナーを設定できるようにという目的意識をもちながら取り組ませていきたい。また、提案書を書く活動を通して、情報の収集・分析・整理する力、全体の構成をを考えて相手に伝わるように書く力を育てていきたい。

(2) 教材について

4年生までに学習した「読書生活について考えよう」での報告文、「仕事リーフレット」でのパンフレットやリーフレット作成を生かし、5年生では「自分の課題について調べ、意見を記述した文章を提案書の形で書く」ことを言語活動・活動目標としている。現状分析→問題点の洗い出し→解決への提案という流れを学習することは、国語科のみならず他教科での学習にも活用することができる。実際に提案が生かされ、活動に達成感や価値を見出すことができれば、読書への関心も高まり、次の活動への意欲にもつながると考えられる。学校生活をよりよくしていくための委員会活動への提案など、可能性の広がる教材である。

(3) 指導について

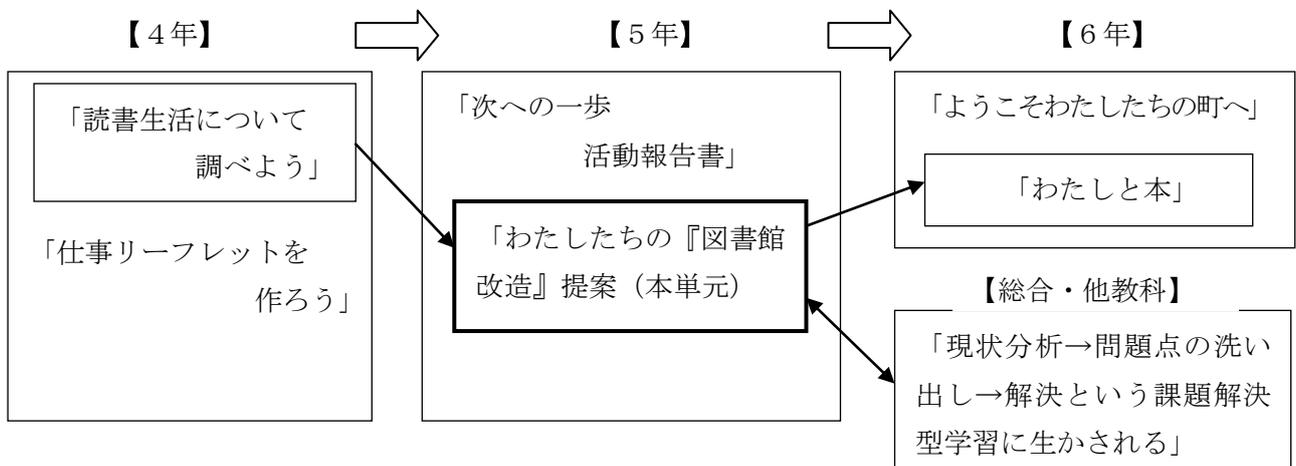
本単元では、「自分の課題について調べ、意見を記述した文章を書く力」を身に付けるため「自分のアイデアを知ってもらおう～『図書館改造』提案書～」を言語活動に位置づける。

提案書には、問題点・提案・提案の効果を書く。問題点は図書館の現状から課題を見つけ出し、情報を集め、アイデアを出し合い、情報の整理を行う。その後、構成を考えながら自分の提案書を作成する。このことにより、目的に応じて必要な情報を集め整理する力が付き、構成を工夫して相手に提案を伝える書き方ができるようになると考える。

本研究の視点1「場のつながり」に関わっては、自分の考えをもった上で「自分の提案と比べて、友だちのアイデアのよさ」に着目して発表を聞くことを大切に指導したい。視点2「教材のつながり」に関わっては、図書館をよりよく改造するために提案書を作ることで、読書への意欲を高め、6学年の学習「わたしと本・森へ」で自分と本との関わりを客観的にとらえられるようにさせたい。視点3「ひとのつながり」に関わっては、全員が提案書のアイデアをもつために、一人ひとりの思いや願いを知り、助言を行ったり、友だちと情報交換したりする場を設定する。また、グループごとの発表、学習の振り返りを交流することで、自分のよさや友だちのよさに気づかせていきたい。

学習課題を明確にとらえさせるために、現在の図書館の状況を具体的に示すことが重要である。他の学年と比べての5年生の利用状況や、他の図書館や書店の写真を比較して違いを話し合わせるなど、具体的な数字や写真などを提示して学習に取り組ませたい。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画（7時間扱い）

- | | |
|-----------------------------------------------------------------|---------|
| (1) 図書館司書の話聞き、現在の図書館の利用状況や課題をつかむ。 | 1時間 |
| (2) 学習課題と活動の流れをつかみ、学習計画を立てる。 | 1時間 |
| (3) 図書館に関する情報を分析し、目的にあったアイデアを考える。 | 2時間 |
| (4) 「提案書の構成」を確認して、提案書を書く。（問題点） | 1時間 |
| (5) 提案書の構成を考えながら、工夫して提案書を書く。（提案・提案の効果）
提案書を互いに読み合い、意見の交流をする。 | 1時間（本時） |
| (6) 提案書を完成させ、互いのよさを見つけ交流する。 | 1時間 |

7 本時について

(1) 目標

提案書の構成を考えながら、調べたり考えたりしたことを工夫して書き、よいところを見つけて伝えることができる。 <書く能力>

(2) 「自分の考えをもつ \square 自」「互いの考えを交流する \square 交」「互いの考えのよさに気づく \square 気」場面

本時の「自分の考えをもつ」場面は、提案書の構成を考えながら、調べたり考えたりしたことを工夫して書く場面である。「互いの考えを交流する」場面は、グループごとの提案を交流する場面である。「互いの考えのよさに気づく」場面は、それぞれの提案書のよいところを見つけて感想を発表する場面である。

(3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点●評価の観点（方法）
導入 5分	1 前時想起をする。 ・提案書の構成について、書き方を振り返る。 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">提案書を書き、友だちのよいところを見つけて伝えよう。</div> 3 「竹内さんの提案書」を音読する。 ・分かりやすい提案のしかたについて話し合う。		○提案書の構成について「問題点」「提案」「提案の効果」を確かめさせる。 ○課題が、書くことと交流することの二つあることをおさえる。 ○「誰に向けて」「何を」「どのように」が書かれていることに気づかせる。
展開 35分	4 提案書を書く。 ・話し合ったことをもとにして、提案書を書く。 ・読み手に伝わるように、提案書を書く。 5 グループで交流をする。 ・それぞれの提案書を読み合い、伝え合う。	\square 自 \square 交	○提案文を、具体的に書くようにさせる。 ○時間があるときはイメージ図・提案の効果を書くようにさせる。 ●具体的な提案内容で提案書を書いているか。 (観察・ノート) ○参考にしたい提案書を書いている友だちを見つけさせる。

	6 グループごとに発表する。 ・全体で交流をする。	気	○友だちのよいところを見つけ、数人に発表させる。 ○友だちのよいところを、短冊カードに記入させる。 ●提案のよさを見つけて書いたり、発表したりすることができたか。(挙手・発言・カード記入) ○よさを見つけている児童に発表させる。
終 末	7 本時のまとめをする。 ・本時の振り返りをする。		○学習の振り返りをさせる。
5 分	8 次時の学習内容を知る。		○次時では完成した互いの提案書を読み合うことを知らせる。

(4) 板書計画

各グループの発表

提案の内容(具体的)
だれに
何を
どのように

竹下さんの提案書

わたしたちの「図書館改造」提案

提案書を書き、それぞれの班のよいところを見つけて伝えよう。